令和2年度 事務事業総点検シート(1) [令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業								
事務事業名	臨海部整備推進事業管	理経費	Ĭ		シート番号	017-056							
担当部署名	建築都市	局	都市再生	部	臨海整備	課	評価責任者(課長名)	福知					

≪ I. 基本情報≫

		堺市マスタープランの政策体 系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わい	と交流のまちづくりを進めま	र्	後期実施計画 の位置付け				
		水に生ってす木の丘直117	施策	1	都心地域や各地域拠点の流	- ト地域拠点の活性化						
並	2	事業開始年度		平成	12 年度	_	— 年度					
基本情報	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)										
報	4	関連計画	堺臨海部	界臨海部再生・創造ビジョン								
	5	事業実施の経緯	りに先駆し している。 都市のオ	快適な水辺空間を市民に提供するために緑地や護岸の維持管理を行っている。新日本製鐵㈱がりに先駆けて整備した緑地と、これに隣接する国が整備した防災緑地(先端緑地)で、海とのふれおしている。海とのふれあい広場は発災時には基幹的広域防災拠点として役割を果たすものであるが都市のオアシスとして人々が憩う、魅力的な都市空間として本市が一体的管理を行う。堺旧港親水府港湾局(整備主体)と連携しながら、堺旧燈台への主要経路として維持管理を実施。								

≪Ⅱ.事業概要≫

	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)		本庁	□ 各	区] 日	出先機関	()						市外郭	団体	
	O			地域団	体·市	民		民間企業	₹• NPC)		その他	b	()		•		
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としている のか)			者:親水空間を利用する市民及び来訪者 施設:海とのふれあい広場、堺旧港親水性護岸																
	8	事業の目的 (どのような状況にしたい のか)	·大 堺	阪湾の 旧港親オ	:のふれあい広場 阪湾の景観を背景に楽しめる自然豊かな緑地、バーベキューや海釣り、ドッグランなどのレクリエーションの場の提供 日港親水性護岸 街地から気軽に、快適に海の風景を楽しみながら旧堺燈台や堺旧港を周遊できる親水空間の提供																
事業概要	9	事業内容 (スケジュール、実施方 法・手段、事業ボリューム など)	Ü	3.										直・清掃・修				理∙保	守点検を	実施し、	τ
				直接実	池	∐∐ŧì	定管	『埋 ■	■ 委託		補助	70年	Ш	負担金	その	1世	()	_
	10	直接実施以外の主な支出先	警	備会社	L、清	帚維:	持管	理業者													

«	ш.	书	没入量≫		平成2	9年度	平成3	0年度	令和元	元年度	令和2年度
		項目			^{単位} 予算 決算 予		予算	決算	予算	決算	予算
		事業費(a)		千円	27,240	14,403	25,487	16,374	26,013	15,549	36,230
		主	委託料(海とのふれあい広場)	千円	22,430	9,537	19,953	10,168	14,766	9,580	10,849
		な事業	委託料(堺旧港親水護岸)	千円	2,050	1,836	2,100	1,875	8,569	2,385	21,800
		*費内		千円							
事業	11	訳		千円							
コ			国·府支出金	千円							
スト		財	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		源内	市債	千円							
		訳	その他(光熱水費等および事業負担金)	千円	9,740	7,566	9,734	7,774	9,746	7,988	5,853
			一般財源	千円	17,500	6,837	15,753	8,600	16,267	7,561	30,377
	12	人	件費(b)	千円	9,760	9,760	9,860	9,860	10,080	10,080	9,240
	13	総	コスト(c)=(a)+(b)	千円	37,000	24,163	35,347	26,234	36,093	25,629	45,470

事務事業名

臨海部整備推進事業管理経費

シート番号

017-056

≪Ⅳ. 評価(測定·分析)≫ ロジックモデルの考え方

問題に対処するための 具体的活動

因果関係

活動結果(アウトプット) 活動が実施されたこと を示す事実

因果関係

成果(アウトカム)

期待される変化

目的の達成に寄与

[14]令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

〔15〕または〔16〕に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】								
評価	達成率							
大変良い	120%以上							
良い	100%以上120%未満							
普通	80%以上100%未満							
少し悪い	60%以上80%未満							
悪い	60%未満							

事業の活動実績や成果

令和元年度実績

所管する各施設を、適切に管理するため、以下の活動をおこなった。

<海とのふれあい広場>

- ・清掃(1回/週)、トイレ清掃(2回/週)、除草を実施 ・水道の保守点検(1回/月)、電気工作物の保安管理(1回/2か月)、マンホールポンプの保守点検(1回/年)を実施 ・広場開園中の施設警備(警備員が通常2名、GW6名常駐)を実施 14

 - 転落防止柵等の修繕を実施
 - <堺旧港親水性護岸>

動 宯

成 果

- ・清掃(1回/週)、除草を実施 ・手すり等の修繕を実施

ŧ												
Ę		指標名【活動指標】	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
Ĺ				目標値	30	30	31	32				
١,	5	親水空間の面積	ha	実績値	30	30	31					
ľ	J		na	達成率	100%	100%	100%					
				評価	良い	良い	良い					
当課管理の親水空間の面積												
Γ		指標名【成果指標】	単位		令和2年度							
				目標値	0	0	0	0				
١,	6	事故発生件数	件	実績値	0	0	0					
Г	U	争以先工什么	1	達成率	100%	100%	100%					
				評価	良い	良い	良い					
		算出方法・設定根拠など	賠償責	音償責任保険適用件数								

事業の効率性

	T	~ MJ T	-						
Ī			区	分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		1	親水空	2間の面積	ha	30	30	31	
1	17	② 上記①にかかる年間経費			千円	24,163	26,234	25,629	
	ĺ	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)		(②÷①×1,000円)	円/単位	805,433	874,467	826,742	
	Ī	備考	(算出についての説明等)						
Ī				分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		1							
ŀ	18	2		かる年間経費	千円				
ı	ĺ	3	単位当たり経費	(②÷①×1,000円)	円/単位				
ı	Ī	備考	(算出についての説明等)			<u> </u>	<u> </u>		

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)

〇親水空間の面積

大阪府が高潮対策事業として整備を進めている堺旧港護岸について、大阪府と協議のもと、親水 性のある階段式護岸(北側部分)が完成し、市民が憩うことができる親水空間が拡大した。

〇事故発生件数

る・最近に1900 各施設の清掃や修繕を行うとともに、海とのふれあい広場については、緑地、海釣りテラス、ドッグラン、バーベキュー広場の利用状況を巡回や警備員との連絡により把握し、安全な利用が図れるよ う、適切な維持管理に努めた。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に 問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影 響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- O RPA等をはじめとするICTを活用 する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の 選定など、戦略的な広報ができ ていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名 臨海部整備推進事業管理経費 017-056 シート番号

≪Ⅴ. 点検≫

- <点検の前提>
- へ 点機の前旋/ ○新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる ○新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

0	上	記「点検の前提」を踏ま	え、事業の抜本的な見直しを検	言	けるもの。 ⇒			確認		
			事業廃止の可能性		廃止した場合に市民生活等に及ぼす具	体的な	影響			
	20	とが想定される中、当該事業を廃止できないか。	□ 廃止できる	間海に	とのふれあい広場及び堺旧港親水性護岸は、市内として市民の憩いの場となっている。 として市民の憩いの場となっている。 とのふれあい広場は、基幹的広域防災拠点として ま、救援物資の中継基地や被災地支援隊のベー	、大規札 スキャン	模災害 ノプと ⁷	野発災時なり、平		
			■ 廃止できない	常時には、広大な緑地が市民のレクリエーションの場となっている。 当該事業を廃止すると、市民が憩える親水空間が提供できなくなる。また、基幹的広域防災拠点として適切に維持管理する必要がある。						
		(20で廃止できるを選択しな	事業休止の可能性	休	止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響	休止の	休止の場合の再開時期			
		かった場合)	□ 休止(延期)できる	₩.	*\&_\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	□ 令精	和2年	度中		
	21	本市財政運営が厳しくなるこ			幹的広域防災拠点である海とのふれあい広場 、発災時にその機能を果たすため、平常時から	口 会犯	□ 令和3年度			
		とが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	■ 仕上(延期)でもかい		切に維持管理する必要がある。					
		是所並(是例) CE \$ 0 13 。	■ 休止(延期)できない	L.				度以降		
			コストの縮減	í	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できなし	ハ場合	はそ	か 埋田		
		(20で廃止できるを選択しな	□ 一部廃止しコスト縮減できる							
		かった場合)	□ 一部休止しコスト縮減できる							
	22	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を	□ 規模等を縮小しコスト縮減できる	各	施設を安全かつ適切に維持管理するため。					
コロナ		図ることができないか。	□ 事業手法等を改善しコスト縮減できる							
が禍			■ 縮減できない							
を		(20で廃止できるを選択しな	事業手法の適切性		改善する場合は改善策、その他は	理由				
踏		かった場合)	□ 改善する必要がある							
まえた	23	社会経済活動の維持・回復の ほか、3密を避けるなどの市 民や民間の活動変容への対	□ 改善する必要がない	イ	民の憩いの場として適切に維持管理するとと ルス感染症の感染予防のための行動について ページ等により利用者へ周知するとともに、大	こ、ポス	ター	やホー		
点検		応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	■ 既に対応できている	テ.	ムを利用している。					
_	_	る必要がないが。		するの	。 または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない。	場合を含	む) 墳	合は口)		
必要			① □ 公民連携の推進							
性										
・ 有			② □ ICT活用による効率化] 大阪府港湾局との管理協定のもと、大阪府が管理する防災					
効		(20で廃止できるを選択しなかった場合)	他部局との適切な連携・役割分担	埋						
性・	24	効果的・効率的な事業の実施	③ □ 関係部署名 ()	由						
効		に向け、右に掲げる視点から	関連事業名 ()	·	部分を含め、一体的に広場を維持管理してい 其幹的広域防災拠点を管轄する国と管理者		広ト	力議団		
率性		改善できないか。	④ ■ 国・府等との適切な役割分担・連携	明	・基幹的広域防災拠点を管轄する国と管理者の大阪府と協議 整しながら、広場を運営している。					
V			5 一 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡							
			⑥ □ その他()							
			事業の方向性		<u> </u>		実护	年度		
			7 213 11 23 1 3 1 1 1				7 (1)			
			□ 廃止 □ 休止または延期 □ 事業を縮ん	/J\	□ 改善して継続 ■ 現状を継続 □ 事業を担	広充 🗆	令	和2年度		
			 公金投入の方向性			\dashv_{\Box}	令	和3年度		
			□ ゼロ □ 縮小		現状維持 口 拡大		令和	4年度以降		
	25	これまでの点検を踏まえ、今 後の事業のあり方についてど のように考えるか。	所 時、大阪府との調整が必要である。引	 き	者:大阪府港湾局)と一体的な緑地として開設 続き、国・大阪府と調整しながら、利用者の安: 基幹的広域防災拠点としての位置づけを踏ま	全に努	めつ	つ維持		